

七友会 だより

卒業生に贈る

七友会会長 佐原 和典

今年は、いつもよりスポーツにわいて始まった感があります。相撲では、初場所で栃東が優勝し、久しぶりに横綱が誕生するかと、わくわくしながら3月を迎えました。(私的ですが、栃東を応援しています)。ほんの少し前までは、連日、メダル1個のために眠い目でテレビを見続けたトリノオリンピックがありました。今は、ワールドベースボールクラシック。野球の世界一を決める大会が行なわれていますし、あと少しでサッカーワールドカップが始まります。日本は予戦を通過できるのか？ハラハラ、ドキドキものです。

そんな折、経済状況も少し上向き(?)になったのか、就職も多少よくなって、世の中に入っていく卒業生の皆さんに、いくつか気になっていることばを贈ります。1つは「二極化」です。新聞などでもよく出てきますが、今はベースに経済状態が横たわっているのが不気味です。勝ち組、負け組ということばもありましたが、貧富の差が拡大しているのは事実のようです。親の経済状態は子供にも影響し、学力にも二極化が出ているようです。子供の望まぬところで格差が生まれ、拡大していくのは悲しいものです。もう1つは、「成功の原則」です。様々な本に登場することばですが、営業に関わる人は、どこかで必ずといっていいほど言われることばでもあります。マンガ「ドラゴン桜」にも似たようなことばが出てきますが、たとえば、「目標達成のためには、2倍の目標を設定するか、2分の1の時間で達成するか。」あるいは、「ゴールから逆算して、小さく区切った目標を確実にクリアしていく継続力」「時間と数字を意識した行動」などですがどんな立場の人にも、あてはまるのではないのでしょうか。もう1つは「最後まであきらめない気持ち」です。精神論を説くつもりはありませんが、いつもどこかであきらめて、やめてしまう気持ちが続くと、そんな人生しか続かないものです。どこかで、苦しくともあきらめないで続けなければならない時があります。それがいつなのか、それはわかりませんが、必ずやってくる事を覚えていて下さい。

月日の流れは早いものです。特に、齢と共に実感させられます。卒業後、何十年と経て、子供が高校、大学と進む年令になっても、ひとたび顔をあわせ、酒でも飲もうものなら、話す内容は年齢相応でも、精神的には、なぜか学生時代にもどってしまうものです。最近、同期の一人が病に倒れ、リハビリ中と聞き、あらためて考えさせられました。確実に体は衰えていると。何事も、やれる時にやっておきましょう。悔いを残さぬためにも、段取り八分です。

— 卒業後の住所をお知らせ下さい —

卒業生の皆さん、そして御父兄の方々をお願いします。卒業後、就職、進学等で住居が定まりましたら、同窓会事務局の方に必ずお知らせ下さい。寄せられた個人情報については、会則にそった活動のみに利用されるもので、会報の送付、行事の案内等の元になるものです。情報の管理には充分気をつけており、「会員名簿」も発行しておりませんので、御留意下さい。なお、今のところ、会報は年1~2回発行しておりますので、お手元に届かない時は、住所が確認されていない可能性がありますので、転居された場合も同じく、下記連絡先までお知らせ下さい。

連絡先 ・郵便：〒020-8550 盛岡市上田3-18-34
岩手大学人文社会科学部内 「七友会」宛
・TEL(留守録)&FAX:047-336-3945
・E-mail:office@shichiyukai.net
info@jinsya.com

ホームページもご覧ください!!
<http://www.shichiyukai.net/>
<http://www.jinsya.com/> (関東支部)

— 三浦、吉田両教授が定年退官 —

平成18年3月をもって岩手大学人文社会科学部を定年退官される先生は、三浦勲夫教授（英文言語文化）と、吉田勝一教授（環境生物学）のお二人です。

さる、1月30日には、両教授の最終講義が行われ、長年の研究成果などを披露されました。この様子は各新聞等ととりあげられましたが、岩手日報においては次のように紹介されています。三浦教授の講義は一般公開で行われ、在学生や卒業生、交流のあった友人ら約百人が聴講し、英語の翻訳、通訳、異文化体験の三本を柱に講義しました。

また、ゴマシジミなど希少動物の保全に取り組んできた吉田教授の講義には、学生ら約80名が聴講し、メダカやフクロウなど、今まで普通に住んでいた生物が減っていることを里山問題の焦点と指摘しました。

両教授には、同窓会からささやかではありますが、記念品を贈らせていただきました。

— 25周年記念、同窓会開催について —

この件に関しては、会報で開催要項等をお知らせすることになっておりましたが、詳細についてはまだ決まっておられませんので、決まり次第、同窓会ホームページ上でお知らせするとともに、住所が確認できている方には、文書等でもお知らせいたします。今年の秋頃の週末を予定していますので、お楽しみに!! 場所は東京周辺、舞浜あたりが有力候補地でした。詳細は関東支部が中心となってまとめているので御期待下さい。

— 「就職懇談会」開催 —

平成17年度の就職ガイダンスは、昨年同様「懇談会」形式をとって、平成17年12月13日（火）に中央食堂を会場に開催されました。同窓会から会長を含めて9名が出席し、全体では90名近くが参加して、たいへん盛況でした。とても寒い日でしたが、熱心な話が多く、体験談や仕事に関する情報提供もあって就職活動に多に役立ったのではと思っています。なお、同窓会からは、開催費用の一部が援助されています。

— 全学同窓会設立の動き —

今年、1月中頃、次のような趣旨で全学同窓会を設立したいとの考えが大学から示され、4学部同窓会に説明と検討依頼がありました。

（趣旨）学部の壁を越えた全学一体の大学づくりを進める観点から、同窓生についても全学的なデータベースの構築を進め、大学から同窓会への情報発信、地域的な同窓生のネットワーク化等のサービス提供に加えて、岩手大学の受験生確保、就職支援、教育研究支援のための資金作り等に同窓生の支援を得られるようにするため、4学部同窓会の連合による全学同窓会を設立する。

学部長とも相談しましたが、概ね了承しました。3月現在、規則（案）の検討作業中で、4月以降、4同窓会の了承を得て第1回理事会開催となる予定でいます。七友会として理事会等も開けないので何人かに意見を聞いてみましたが、特に異論はないようでしたので、会長の判断で了承としています。当面は、4同窓会からの年会費をもとに、1)同窓生データベースの構築、2)大学情報の同窓生への発信、3)開学記念行事等の企画、などの事業を推進することになりそうです。御意見等ありましたら、事務局の方まで、よろしくお願ひします。

— 「修士論文公开发表会」開催 —

人文社会科学研究科の修士論文発表会が、平成18年2月21日（火）学部G1大講義室で行なわれました。今回は、はじめて一般市民の参加を呼びかけて、公开发表会という形となり、研究成果をいかにわかりやすく説明するかという点で、だいぶ苦労されたようです。このような形式は、今後も続けられるようですので、関心のある方は次回ぜひ御参加下さい。同窓会でも次回から情報をお知らせしたいと思います。

岩手大学人文社会科学部同窓会

Tel(留守録)&Fax : 047-336-3945

E-mail : office@shichiyukai.net

info@jinsya.com

郵便宛先 ※人文社会科学部内「七友会」宛
020-8550 盛岡市上田3-18-34 岩手大学

ホームページもご覧ください!

<http://www.shichiyukai.net/>

<http://www.jinsya.com/>〔関東支部〕